

建築士会 CPD（継続能力開発）・専攻建築士のオープン化と 単位換算基準改正について

佐賀県建築士会 CPD・専攻建築士委員会 委員長 佐藤秀樹

CPD・専攻建築士がオープン化されることになりました！

（オープン化とは士会会員以外にも制度を活用してもらうということです。）

佐賀県ではすでに CPD を会員以外にオープン化しているのですが、それとともに仕組みが大きく変わるのでお知らせいたします。

どのように仕組みが変わるのか。

CPD について

1. 手帳がなくなり IC カードになります。
事前に申込をした講習会などに行き、カードを提出することによりデータ登録されるしくみになります。（カードリーダーが無くても出席者名簿を事務局で登録すればデータ登録できます）
2. 委員会型、認定教材以外の自習学習型、実務が登録対象外となります。
3. 単位はすべて 1 時間 1 単位となります。推奨単位は 12 単位/年です。（従来は 36）
4. プログラムは原則、事前認定を受けなければなりません。
5. 認定教材はネット上で設問に解答し、正解であれば登録できるようになります。

専攻建築士について

1. 新規申込は直前 1 年間の CPD12 単位が要件となります。（従来は 250 単位/5 年）
2. 登録更新が 60 単位/5 年になります。

※詳しくは、建築士 2009.12 月号 P.46～51 を読んでください。

佐賀県では単位の審査方法を平成 22 年 4 月 1 日より新基準で運用いたします。

また、システムの運用（IC カードの利用など）は 23 年 1 月を目標に整備する予定です。

5 月の専攻建築士新規受付・更新も新基準で行います。（ガイド作成中です。）

よろしく願いいたします。

CPD制度の現行と改正後の比較表

		現行	平成22年4月より適用
CPD参加資格		建築士会会員限定	すべての建築士
			施工管理技士等すべての建築関連技術者
履修実績の記録、登録	データ登録・管理方法	バーコード方式 各建築士会のPCで管理	カード方式 建築士会専用サーバーで管理
	参加型研修	講習会場等でのバーコードの配布と手帳の提出により登録	講習会場でカードによる出席記録に基づき登録
	認定教材	誌上掲載の設問への解答とバーコードを手帳に貼付して士会へ提出	HP上で設問に答えた後に、事務局の確認を経て登録
	事後申請の扱い	自己申告に個別に対応	原則認定外、ただし、内容等により認定する場合もある(有料)
履修対象プログラム	プログラム種別	社会貢献型	社会貢献型
		情報提供型	情報提供型
		委員会活動型	—
		認定研修	認定研修
		その他講習会・見学会等	その他講習会・見学会等
		認定教材による自習	認定教材による自習
	実務型	— (専攻建築士認定にあたって別に評価)	
プログラム認定	プログラム評議会等により認定	事前に申請されたプログラムについて、全国統一基準による厳格な認定を原則とする	
	プログラム認定手数料なし。	プロバイダーから認定料または個別のプログラム審査料。ただし、公的機関は無料	
履修実績の活用	単位換算	研修別により重み付け	実時間換算とし、重み付けは行わない
	能力開発の目標	年間36単位	年間12単位以上
	履修実績の確認	証明書の交付により確認	HPで常時確認可能
	履修実績の提供	活用先にあわせて、手作業で提出データを整理、提出	必要なときに必要なデータを容易に編集、提供可能